



第84号
H27年9月24日

発行 結城地域農業改良普及センター
TEL 0296-48-0184 FAX 0296-48-2682
HP <http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/noucenter/fukyu/yuki/>

平成27年台風第18号等の大雨により被災された
皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。

県内各地で水稻、ハクサイなど多くの農作物や
農業用施設に大きな被害が発生しました。

結城地域農業改良普及センターでは、地域の一日も早い
復旧がなされるよう支援してまいります。

結城地域農業改良普及センター長
吉川 勇

結城地域農業三士情報交換会を開催しました

8月25日、農業三士と関係機関など52名の参加を得て「結城地域農業三士情報交換会」を開催しました。

始めに、農業三士新任者・退任者の紹介、あいさつを行いました。次に、新規就農支援に関する事例研究「県内の担い手確保育成の取り組み」と題し、農林振興公社 中嶋次長から、茨城県における就農相談及び就農状況と新規就農支援について、農業総合センター 鈴木専技から、担い手確保育成の取り組み事例について、それぞれ講演を頂きました。

結城地域農業三士情報交換会



新任の農業経営士・青年農業士の皆様

講演会後の交流会では、地域農業活性化のリーダーとなる農業三士と関係機関が連携して地域の担い手育成等の課題解決にあたることを確認し合うことができました。

今後とも結城普及センターでは、担い手育成のコーディネーターとして、関係者が一丸となり新規就農支援や青年農業者支援を行っている機会づくりを進めていきます。

結城地域農業三士情報交換会



講演

八千代町「あくと梨」を各地で宣伝！

9月6日に東京都内、神奈川県内、茨城県内の3店舗において、JA常総ひかり梨部会と八千代町農畜産物生産流通対策協議会（八千代町、JA常総ひかり、結城普及センターで構成）が八千代町の「あくと梨（品種：豊水）」の試食販売を行いました。



ポケットファームときどき つくば牛久店では、県外に住む家族などに贈るため、品定めする姿がみられ、試食をした多くのお客様に梨を購入していただきました。また、試食販売に合わせて無料抽選会が行われました。景品は箱の「あくと梨」など季節の農産物ということで、たくさんの方が抽選会に参加されました。

翌7日には、東京大田市場で八千代町長とJA常総ひかり組合長によるトップセールスが行われました。「あくと梨」のさらなる消費拡大が期待されます。



「雑草イネ」を見ませんでしたか？

雑草イネが管内でも発生しています。収穫した玄米の中に、赤色や褐色の粒が混じっていませんか？ 栽培している品種と特徴が異なるイネを水田で見かけなかったでしょうか？ 早期発見と速やかな対応が大切です。

除草剤による雑草イネの防除法

1 耕起前の除草剤処理（5月下旬に移植の場合）

水稻耕起前に使用できる非選択性除草剤は高い効果があります。雑草イネが生え揃った5月末の処理が効果的です。

2 水田除草剤による体系防除（5月中旬までの移植の場合）

雑草イネに有効な薬剤でも、その効果は出芽前～出芽直後までに限定されます。1葉期以降は薬効が殆どありません。除草剤の処理間隔は7～10日とし、以下の防除体系を3ヶ年間実施します。

- ・5月中旬までの移植時期では、3回防除（初期剤＋1発処理剤＋中期剤）

※耕種的防除法もありますが、イネ縞葉枯病被害を拡大させる恐れがあるので、詳細は普及センターに問い合わせ下さい。

土壌・肥料のはなし

— マグネシウムの働き —

マグネシウムは、光合成に必要な葉緑素を作る成分です。植物体内を移動しやすく、不足すると古い葉から欠乏症が現れるようになります。症状は、葉脈だけが緑色で、葉脈間が黄色くなったり、白く変化します。

また、急激に果実が肥大すると、果実周辺のマグネシウムが果実へ移行するために、果実周辺の葉から欠乏症が現れます。

茨城をたべよう
収穫祭

会期 2015年10月24日(土)・25日(日)
時間 10:00~16:30
会場 砂沼広域公園 (下妻市長塚乙 4-1)

いそとりのどりの食の祭典！

うれしいワンコイン！
100円試食ストリート

みんなで盛り上がり！
ステージイベント

家族で楽しもう！
キッズコーナー

茨城の新鮮で安全な農林水産物が大集合！

県西地域の農産物や加工品も出店！

「県西うまいもんストリート」

主催 茨城県・下妻市

後援 茨城をたべよう運動推進協議会